

あ と が き

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
金谷文則
菊地臣一
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
竹光義治
富田勝郎
戸山芳昭
内藤正俊
守屋秀繁
矢部裕
山室隆夫
吉川秀樹

編集主幹

土屋弘行
編集委員
黒田良祐
酒井昭典
仁木久照
松本守雄
松山幸弘
山本卓明

オンライン投稿

ID: rinseige

パスワード: rinseige

今回は和歌山県立医科大学の山田宏教授に「視座」から、われわれ臨床医に素晴らしいお言葉をいただいた。それは紀州・和歌山が生んだ偉人、華岡青洲の人生訓であり、医療理念の「内外合一・活物窮理」である。

内外合一とは、「外科手術を行うには、患者さんの全身状態を詳しく診察して、十分に把握した上で治療すべきである」という意味で、これは比較的わかりやすい表現と思うが、「活物窮理」はいささか難解である。これは、「われわれは解剖や病態生理の基本を熟知し、その上でよく患者を診察し、診断治療をすることが大切」という教えである。確かにガイドラインやマニュアルに沿った診療しかできない、病気を診て患者を診ない医師が増えていくような気がするが、ハッとさせる教えである。

ところで今回は労災医療にフォーカスがおかれた。労災では業務中や通勤中の事故により傷病を負った場合、あるいは、業務に起因する疾病に罹患した場合に、労災認定されると労災保険による医療費の給付を受け、場合によっては休業補償を受けて治療を受ける。この労災で問題となることが多いのは認定の段階と後遺症についてである。過労や職場の人間関係による精神的ストレスで多くのメンタルトラブルが生じ、場合によっては自殺まで追い込まれることもある。程度が軽いと認定すべきかどうか困難な場合もあるだろう。またCRPS、RSDなどは多分に心因的要素も含まれ、その診断・治療も難渋して後遺症も重篤なものとなることも少なくない。元々「痛みは感覚であり情動」であり、客観的評価指標がないこともより治療や後遺症診断を困難とし得る。さらに労災や交通事故には相手があり、補償金が絡んでくるのでより事態を複雑にしている。また治療する医療者がトラブルに巻き込まれることも、稀に存在する。こうした労災治療において、その認定、治療、後遺症診断、トラブル回避のためにはどのようなポイントを押さえたらいいか、本特集では読者に分かりやすく解説されている。すべて労災治療のエキスパートが担当されており、若手整形外科医師にとっては大変役に立つものと考え、

(松山幸弘)

臨床整形外科 (第56巻第7号)

2021年7月25日発行(毎月1回25日発行)

定価2,860円(本体2,600円+税10%)

2021年 年間購読料(12冊 税込 配送料弊社負担)

冊子版 36,168円

電子版(個人) 36,168円

冊子+電子版(個人) 41,668円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal/408>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 俊

住 所 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電 話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:志澤・前野)

販売部直通 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693 番

印 刷 所 株式会社アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込 株式会社医学書院 電話 (03)3817-5696

表紙デザイン ミスター・ユニバース株式会社

レイアウトデザイン 有限会社ベーシック

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2021. Printed in Japan.

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複製、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

※「臨床整形外科」は株式会社医学書院の登録商標です。